特定非営利活動法人

要約筆記 高知・やまもも No. 233

10月

発行　平成30年9月27日

事業とお金

理事　　門田　民世

本年度も折り返しを迎えた10月。早くも次年度予算の獲得に頭をひねる時期がきた。三役はもとより会計担当が、各事業担当からの企画を基にその敏腕を振るうわけだ。

私の担当は企画と要約筆記者現任研修。残念ながら、スキルアップ研修は来年度から事業予算案上 県・委託事業として認められなくなった。理由は明確に指摘されていないが、「費用対効果」を考えるとき、そのバランスが取れない事業と判断されたのだろうと私は思っている。

スキルアップ研修の目的は①聴覚障害者支援充実のため要約筆記技術向上を目指す ②全国統一要約筆記者認定試験合格者の育成にあった。講座受講生と講師担当者には、②の目標達成は必死なものがある。では①の目標は、達成できたのだろうか。私には、どこまで追いかけても到達し得ないものに思えるのに、現任者の参加は少ないままだった。研修内容や開催時期など、講座などとの兼ね合いもあったから現任者には活用しにくかったのかもしれないが、今となってはもう後の祭りだ。

当会の事業財源は、会費・派遣事業などからの報償費・県の委託事業費などから賄われている。委託事業費も元を正せば「税金」だから、意識しようがすまいが、身銭をきっているわけだ。自分の懐から直接お金を出せば、その価値を目の当たりにするが、どこかしら遠く思えるこれら事業財源には敏感になれないのかもしれない。だがそれだと この先が危惧されて仕方がない。

県は、全般的に予算削減で動いている。障害福祉課の担当者が努力して予算を獲得してくれても「費用対効果」の出せない事業に貴重なお金を配分するはずがない。いよいよ次は「現任研修」の番かと思うと いたたまれない。

やまもも会員
10月現在 61名
（内 賛助会員4名）

＜要約筆記 高知・やまもも　の できごと＞

平成20年 （2008）	・高知県委託事業　　要約筆記奉仕員養成講座開講 ・派遣数　56件（含　養成講座講師派遣） ・かたつむり国語教室支援 ・会長　武市親典

ホームページ　http://yamamomo-kochi.sakura.ne.jp/
☎　090-7572-0855　Fax　088-840-2117　E-Mail　mienpa.4.5-25.mienpa@galaxy.ocn.ne.jp
Twitter　@youyaku_y / Facebook　youyaku.y / Instagram　youyaku.y

****

俳句についての感想　　高知県中途失聴者・難聴者の会会長　川村信子

今回初めて、坂本先生にお世話になりました。

俳句には流れがあり、「投句→清記→選句→披講→選評」と会員のメンバーもはじめてで、プリントを読んだだけではピンと来なくて、皆でやっているうちに分かってきました。季語などもまだ分からないことが多く作られた俳句の漢字が読めなかったり、言葉の意味が理解できないこともあり、なかなか前に進めるのに時間がかかりそうです。長い言葉も漢字でまとめることもあるようですが、それもまだ分からないことだらけです。聞こえの障害者は一番大事な言葉が伝わりづらいことではないかと思います。

自分たちも常に前向きに勉強していけたらと・・・願っています。坂本先生、やまももの皆さん、ありがとうございました。大変勉強になりました。皆様に感謝しています。

****

俳句について　　高知県中途失聴者・難聴者の会　　向井堅蔵

私が俳句に巡り合ったのは教科書の「やせ蛙負けるな一茶これにあり」「古池や蛙飛び込む水の音」です。数年前、病院のデイケアに通っていた時たまたま車谷先生にご指導を受けました。月１回、１時間ほどでしたが回を重ねるうちに面白く楽しく、難しく感じながら２年ほどやりました。その後、デイを移り俳句も遠のきました。退職後、趣味のない私は家の前の五台山に興味を持ち、３，４回目の登頂時、頂上に俳句の投函箱があることに気がつきました。それから、その都度２，３句投函しました。そうすると、帰りは何か得した想いですがすがしい気持ちになったことです。

現在は左足を事故で痛めて登っていませんが、１７文字で文章にすればかなり長い意味のある事柄や、また季語を入れて作るのは骨が折れます。今は肩ひじ張らずに時々は季語も入れず作っています。五台山に登っている時はミニサイズのノートをポケットに道中、早や筍がこんなにのびちゅう、ありゃこんまい、こんな草に可憐な花が咲いちゅうと見とれたり、びっくりしたり（花の名前は廣田さんに聞いてください。）でした。草木の種類の豊富さに驚き、昔を偲び、今を感じ、先々を思いながら、びわやツツジ皐月、馬酔木を眺めつつ頂上へと登ったことです。

****

木曜会・土曜会　　勉強会担当　溝渕三枝子

木曜会は主に手書き要約筆記対象の勉強会。月の第３，第４木曜に開催。土曜会は要約筆記全般の勉強会で基本的に月の第２土曜に開催しています。両会共に、開催日の１週間前には予告案内を配信します。

やまももの活動の中で派遣事業を除くと会員が顔を合わす機会は普段それほどありません。したがって、活動を広く知らせる広報とはまた違った観点で、木・土会は活動報告や活動に関する問題点をその場で討議、周知できることも珍しくありません。そういう意味では、純粋に技術のみの勉強会とも言い難く活動全般と認識していただく方がいいかもしれません。

そもそも要約筆記を通しての支援活動は技術のみでは成り立たず、それ以外の専門的知識、社会常識や見識も当然必要であり、現場での課題など比較的即時性をもって協議や討議され、それらの情報を共有できる場でもあると考えています。これまでは要約筆記関係の書籍をテキストにしてきましたが、本年度は両会共に一般書籍からテキストを求めてそれぞれに勉強しています。

とはいえ、担当として、必ずしも明日の要約筆記技術に俄かに役立つとも思ってはいません。しかし、薄紙を重ねるように知識や意識の向上に役立つという自信は持っています。

また、木曜会では四季折々に課外授業的時間を設けています。そういうときには好評で参加も多い。木・土会共に課題は、参加メンバーが固定していることでもう少し増えて、互いに切磋琢磨できたら活動そのものにも、また違った効果が生まれる気がするのですが。そういう意味でも、できるだけ多くの方々に参加をお願いしたいと思っています。

****

人・ヒト・ひと

横顔22
長屋春香　さん

★"個人情報を少しばらしますと、この度大きな地震がありました北の大地のご出身。ご実家は幸いにも被害は軽かったそうです。たおやかで花のような方ですが･･･もしや、もしや、外見以上にハンサムガールであったりするのかなと。話していても気持ちのよい方で、福祉の場での活躍が期待されます！

★次回もお楽しみに

■**入会年は？**／2018年、やまももに温かく迎え入れて頂きました。同期の方々とは年齢関係なく、仲良しだと思っています♪2017年度の講習は、少人数で和気あいあいと楽しく学べました！

■**趣味は？**／悩みであるくらい、趣味は正直ないです…でも今年、車の免許を取得して車の運転の楽しさに気づきました。（中型二輪乗ってます！）機会がある時は、ハンドルは譲りません(笑)

■**嫌いなことは？**／今思いつくのは、カーテンを開けたまま電気をつけること！誰の家でも気になります(笑)

■**習慣**／何時に寝ても大体同じ時間に目が覚めること。休みの日であっても、二度寝ができない性質で早くから動き出します。が、準備は遅いです…

■**理想のタイプ**／人を認められる人。自分にないものをその人の魅力として捉えられる人は素敵だと思いませんか？

■**いけないと思いつつやってしまうことは？**　／いけない、でもやる。お菓子に手が伸びる…

■**自分の性格は？**／好奇心は旺盛だけど、飽き性。他者がやっていないようなことをするのが好きだったり…人と話すのが好き！シャイですが…是非お話ししてください♪

読書

「倚りかからず 」

谷川俊太郎選「茨木のり子詩集」
岩波文庫　出版社　岩波書店
植田雅男

知恵を絞るというが諦めて台風一過の空を見上げる。すっきりとした空気感に茨木のり子の言葉が応えてくれました。「自分の感受性くらい」は御存じの方も多いと思います。自分を全否定された戦争体験を経て、様々な社会変動の中で力強く自分を見つめた人。女性として人としてまっすぐで素直な言葉を社会に投じてきた姿勢に共感しています。話しことばを通訳する要約技術を学んで３年。同時性と話し手の意図を忠実にかつ誰もがわかる言葉で表現することが要求されます。未だに主観性と間主観性をコントロールできないでいます。これをまずクリアしなければ、はるか遠くの法定事業を担う者にはなれません。しばらく、彼女が７３歳で謳った「もはや…」で始まる「倚りかからず」を眺めてみます。

掲示板

敬称略

◆平成30年度
スキルアップ研修

30年度全国統一要約筆記者認定試験に向けたスキルアップ研修が開催されます。
手書き・パソコン
12月2日～2月10日　計7回
会場　高知市障害者福祉センター
申込・問合せ　管理担当
ｍａｉｌ：　ogura_annko_0207@yahoo.co.jp
ＦＡＸ：０８８－８４５－２５８５　（専）

◆灯火親しむ候
読書の感想や日常生活で感じたこと等、
気軽に投稿していただけませんか。
皆様の声を広くひろ～く
ご紹介させていただきたいと思います。
―編集子―

Amazonでのお買い物は　⇒　やまももものホームページAmazonアソシエイトから。※購入金額の一部が広告宣伝費としてAmazonからやまももに支払われ、活動費となります。※購入金額に宣伝費が追加されることはありません。

30年10月　活動予定			
日・曜	会　合　名	時　間	場　所
2日（火）	ノートテイク		
6日（土）	理事例会	10：00～12：00	障害者福祉センター
7日（日）	要約筆記者養成講座　第22回	9：30～12：30	障害者福祉センター
12日（金）	スピリットアート表彰式	13：00～16：00	県立美術館
13日（土）	土曜会	10：00～12：00	障害者福祉センター
14日（日）	要約筆記者養成講座　第23回	9：30～12：30	障害者福祉センター
18日（木）	木曜会	10：00～12：00	障害者福祉センター
21日（日）	要約筆記者養成講座　第24回	9：30～12：30	障害者福祉センター
21日（日）	中央地区身体障害者大運動会	9：30～15：30	県民体育館
23日（火）	高知県身体障害者福祉大会	10：30～12：30	津野町 東津野Ｂ＆Ｇ海洋センター
25日（日）	木曜会	10：00～12：00	障害者福祉センター
27日（土）	土佐町社会福祉大会	9：30～12：10	土佐町保険福祉センター
28日（日）	要約筆記者養成講座　第25回	9：30～12：30	障害者福祉センター
28日（日）	全国豊かな海づくり大会	7：00～13：00	かるぽーと
30日（火）	高知市社会福祉大会	13：00～16：00	かるぽーと
30年９月　　活動追加			
日・曜	会　合　名	時　間	場　所
8日（土）	土曜会　　中止	10：00～12：00	障害者福祉センター
16日（日）	ノートテイク		
30日（日）	リハビリテーション研究大会	10：00～16：00	ふくし交流プラザ

《まっこと》

■高知には八種の珍しい鶏がいるそうだ。その一つのチャボを三月から飼っている。一羽の雄は大きな尾羽を立てて一族を統率し勝手な行動は許さないとの気配をする。六月に入り卵を産み始めた。雄は三羽の雌を従えて人の前で平気で交尾をするので卵は間違いなく有精卵である。昼間はほとんど放し飼い。虫も食べるがブルーベリーの実が大好物。軒下に捨ててある筆筒の小さな隙間を見つけて入り、卵を産み始めた。小さな卵ではあるが有精卵なので誰もが喜んで貰ってくれる。（美）■吾が余生を思った。向日葵の大きな葉陰に痩せた蟷螂が気丈に鎌を振り上げて幸せ気に暮らしている。この二者のバランス。季節が移ろうとどうなる。笑っちゃいけない、痩せた蟷螂は夫、笑顔でいたいと頑張っている向日葵が私だ。内緒だが本気だ。これから人生の秋が来て冬が来る。そこで一句、「向日葵に蟷螂にも来る九月かな」。落ちた句に学んだ。誰がそこまで汲んでくれるか。（善）■ある公立病院でのこと。ナースステーションに「耳の不自由な方、筆談をします。お申し出ください」とあり、その横に「目の不自由な方、お申し出ください」とある。触れてみたが点字板ではない。目の不自由な人にどうわかれというのか。不親切極まりない。会話は成立するだろうが誰のためのものか。合理的配慮という言葉だけが一人歩きしているような現実に腹が立つ。（滋）■いつもこのどん尻で時の経つのを速い速いと騒いでいるが、まっこと速い。早や十月。昭和が暮れて平成も終わる。平成生まれが二十歳になった・・と騒いだ年もあった。私たちは何処に行くのだろう。（三）